

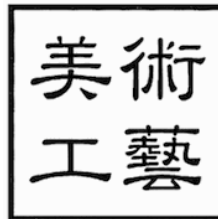
## 研究主題 高等学校芸術科（美術、工芸）教員の指導力の向上

～美術、工芸教員向け実技研修の充実～

### I 団体の概要

本会は昭和49年(1974年)に設立されました。東京都の芸術科(美術、工芸)の教員が、日々の授業力を仲間と共に向上するために授業研究を行うことを目的とした研究団体です。美術、工芸に関わる多くの協賛企業(美術系大学、専門学校、絵具会社など)が賛助会員になってくださり、授業研究や情報交換を行う場となっています。

人々の価値観が多様化している近年、機械やAIでは代替できないアートやデザイン領域への需要が高まりつつあります。高等学校では、これまで主流であった絵具と筆で描くことに加えて、映像やイラストレーションなどのデジタル媒体でも表現する力を伸ばしていく必要があります。時代と共に、美術に関わる内容が大きく変化をしている時期にあると考えており、現在を生きる生徒にどのような力を身に付けさせるのかを、様々な角度から授業研究していく必要があります。



東京都高等学校  
美術工芸研究会

### II 研究部の目的

1. 新カリキュラムの観点別評価について、会員への周知も含め研究協議会を開催する。
2. 会員のニーズを汲み取り、研究協議会を開催する。また、外部講師を招いての講演会を開催し、会員の意識向上を図る。
3. 他の芸術教育研究団体や他校種とも研究を通して交流を深め、連携を図る。また、研究成果の発信を進める。

### III 研究協議の方法

各校の特色ある授業を参観し、評価方法の工夫について授業者より紹介する。その上で、参加者が取り組まれている「評価規準」について模造紙を用いてワールドカフェ方式で、少人数でメンバーを交代しながら、対談を通して情報交換を行う。

## IV 実技研修部

感染症対策の影響で開催が見送られていた教員向け実技研修は、昨年度より本格実施となりました。今年度も先生方が参加しやすいように夏季休業日中に行いました。協賛企業にご協力を頂きながら、専門的で高度な内容の実技研修を実施しました。

研修内容	研修実施場所
① コラグラフ	女子美術大学 相模原キャンパス
② 織工芸	
③ シリコンリトグラフ	創形美術学校
④ フレスコ画	
⑤ シルクスクリーン	阿佐ヶ谷美術門学校
⑥ 人物クロッキー、人物デッサン	
⑦ アイビスペイント	

## V 実技研修部の実践事例



IV-②織工芸では、縦糸と横糸を通して布を織る伝統の機織りを体験しました。貴重な機織り機を使用し、紗織や羅織といった本格的な織り方を学びました。レースを思わせる透けた布が出来上がりました。



IV-③創形美術学校では、シリコンを使ってリトグラフ版画を制作しました。同じ版であっても、インクの色や載せ方で様々なパターンを刷ることができます。美しい色彩の作品を何枚も制作しました。

IV-④砂と石灰を混ぜたモルタルに顔料で絵を描く古典技法を、学びながら制作しました。モルタルが乾くと同時に顔料が乾いて絵の一部となります。大きな壁面での制作を想定して、画面を分割して制作しました。



### <令和6年度連絡先>

団体名		東京都高等学校美術、工芸教育研究会	
代表者	所属	東京都立東久留米総合高等学校	
	職 氏名	校長 荒井 篤	
	連絡先	042-471-2510	
事務局	所属	東京都立東久留米総合高等学校	
	職 氏名	主任教諭 儀部 佳織	
	連絡先	042-471-2510	
団体ホームページ	URL	会員のみに限定公開運用	二次元コード
			—